

大学・高校・中学の新入試に対処した者が勝つ

《新時代が始まりました》

先日中学校で行われた、【全国学力・学習状況調査】にて中学3年生は機械に自分の英会話を録音するというスピーキングのテストが導入されました。内容は、定型的な英会話を発音するものと、2人の会話に自分が入ってその話題に適切な会話をするというものです。これまでの暗記勉強や文法重視からの英会話ではありません。自身の意見を考えて英語で話すというものです。一昨年の入試にも英作文で自分の言いたい内容を書かせるというものがありました。以前、2月27日このHPで書いていた内容そのものです（強調します）。新入試の厳しいところは、変わっていく流れが速いということ（ついていけなくなる子が出る可能性大）と情報を正確に知らないと損をしてしまうということです。（情報分析・処理能力が問われます。また、情報を知らずに取り残される可能性も）



小学校・中学校でこれからやること

小学校：英語は中学2年生の内容（英検4級レベル）よって、小6の段階で英検4級を持っていて当たり前前の時代になります。また、中学生になれば、英語の授業は英語で授業をするようになります。小学生のうちにリスニング力やスピーキング力を養うことが求められています。そして将来はネイティブに近い英語力の達成を目標にしています。

中学生：移行措置という言葉を知っているでしょうか？これは2018年から2020年にかけて教科書内容が変わっていくというものです。4月の授業から中学1年生では素因数分解（中学3年生の教科書には載っている内容）を学校の授業で行っている中学校もあります。気を付けたいことは、この素因数分解は中学1年生の現在の教科書には載っていないということなのです。つまり教科書が移行措置に追いついていません（のちに教科書は変わりますが）。学校の先生方はプリント等で対処しているのが現実です。移行措置内容は入試に出ます（強調）。備えが重要です！！

小学生、中学生の皆様へお子様の置かれている状況は厳しいものです
【新しい入試の時代が到来しています！まずは無料授業体験をしてみませんか？】